

2026 白鳥中学校校内研修計画

今年度は、昨年度本校で力を入れて取り組んだ人権学習、仲間づくりを土台にし、生徒が授業や学びを楽しみながら、探究し続けられるように授業改善に力をいれてこうと考えています。生徒の心をがっちりつかむ授業を行うことは生徒にとっても教師にとってもよい影響がたくさんあります。授業研究に時間をかけすぎてもだめですが、みんなで「できる範囲で無理のない研究」をしていきましょう。



1 研究主題「仲間とともに学びを楽しみ、自ら探究する生徒の育成」

～個別最適な学びと協働的な学びが融合した授業実践を通して～

2 主題設定の理由

【これから生徒たちが進む社会】

・予測困難な社会、AI の高度な発達、SNS の進化・普及による人間関係の希薄化、社会に出たときに起きるジレンマ(2つ以上の価値で葛藤すること)やエラー(乗り越えなければ先に進まない壁)への対応…こういった社会の変化に対応しつつ、自分で情報を取捨選択し、新しい知識や概念、価値観などを獲得し、活用しながら生活をしていく必要がある。(次期学習指導要領でも、情報活用能力の育成には力を入れていく模様)

【本校の生徒の強みと弱み】

～授業改善に係るアンケートより～

○「授業中、自分の考えと比較しながら友達の考えを聞いている」で83%、「授業でわからないことを、友達に聞くことができる」で93%の生徒が肯定的な意見を述べている。

▲「学校に行きたくない」「人の役に立ちたいと思う」の項目に課題を感じる。

～生活する中で見えてくること～

○前向きに授業を受ける姿が多く、困ったときに仲間と交流することができる。

▲仲間と交流する中で、他者の考えや答えを真似することはできるが、いざテストや発表になると自分の考えや知識として定着しておらず、正しい答えが導き出せないことがある。

▲言われたことをやることはできるが、「自分から進んで考えを深めようとする姿」が少なかったり、「難しい課題に出会ったときにすぐに友達に答えを聞いてしまう姿」などが見られたりするなど、自ら探究する姿勢に弱さを感じる場面がある。

→先生や親、仲間と言われたことを考えたり、仲間に聞いて解決に向かおうとしたりする姿は多くみられる。一方で、自ら疑問をもったり、探究し続けたり姿は少ない。教科の学ぶ楽しさ、課題を解決したときの達成感などが得られる機会を少しでも増やしていくことが解決に向かう糸口にならないか。

→授業を含む学校生活が生徒にとって楽しく感じられていないことで、自己肯定感や自己有用感が下がっていることは大きな課題だと考えられるので、改善していく必要がある。

これらをもとに上記の研究主題を設定することとした。

3 目指す子どもの姿

「仲間とともに」

- ・自分ができたらいいというのではなく、仲間のことを考えて行動する姿
- ・授業で、仲間と協働して理解を深めたり、様々な考えを表現したりする姿

「学びを楽しむ」

- ・学ぶことや探究することを「やらされるからやる」「言われるからやる」のではなく、楽しんで前向きにとらえる姿

「自ら探究する」

- ・様々な課題に対して、教科や普段の生活で培った力を用いて自らどんどん探究し続ける姿

4 重点項目(目指す子どもの姿を具現化するために！)★特に力を入れるところ

- ① ★生徒が学んでいて楽しい・もっと学びたいと思えるような授業に改善(少しでも挑戦！)
- ② 生徒の主体性・自己肯定感を育む特別活動や総合的な学習の時間のデザイン(来年度も見据えて)
- ③ 教科研究、生徒指導、教育相談、人権教育、道徳教育などの教員研修の実施&充実



5 校内体制

① 授業改善

- ・生徒の充実感につながり、かつ教師が持続可能な授業改善を行うために、さまざまな授業改善ができるような手法を学ぶ機会を設定する。(複線型の授業、個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習、パフォーマンス課題など)
- ・教師も生徒もワクワクできるような授業にするための教材開発や教材研究を日々行うために、先生方がすでにもっている知識や手法をどんどん授業公開してもらおう。1年通して、いつでも授業公開をしてもらい、授業者が見てほしい授業(提案した授業)を他の先生が見て、学ぶ機会を増やす。
- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの分析を通じた授業改善を行う。

② 学力保障、家庭学習

- ・1、2年生:一人一台端末を活用した家庭学習の実施(アプリケーション内ドリルの活用など)
- ・3年生:朝の学習への取組
- ・放課後学習の実施や長期休みの補充学習の実施、テスト計画表の作成、ノーメディアデーの実施

③ キャリア教育

- ・生き方学習(外部からの講師を招聘、キャリアパスポートの活用)
- ・進路学習(各学年で計画的に実施、職場体験学習の実施)



④ 生徒指導、教育相談体制の充実

- ・人とのかかわりを大切にする学校生活の充実(あいさつ運動、学級づくり、小グループの活用)
- ・年間3回 いじめアンケートの実施と即日対応
- ・年間3回 教育相談アンケートと教育相談期間の実施
- ・教員の生徒指導研修・教育相談研修
- ・携帯電話・SNSの利用や、犯罪防止についての出前授業(外部からの講師を招聘)

⑤ 特別支援教育

- ・すずっこファイルの作成と活用
- ・引き継ぎ支援会議の実施
- ・小中連携ケース会議の実施
- ・特別支援教育やユニバーサルデザインの視点をふまえた授業づくり



⑥ 人権教育

- ・年間計画に基づく授業の実践
- ・人権フォーラムへの取組、校区人権フォーラムの推進、いじめ防止標語の取組
- ・人権作文の取組

6 年間計画 ※研究主題が決まり、研修部会で確認後、提案予定

7 公開授業について

- ① 年間3回の公開授業予定(予定)
- ② いつでも公開授業(予定)